# 論文審査の結果の要旨及び担当者

# 論文審査の結果の要旨

# 1.研究目的の評価

本研究は、炎症時の細胞浸潤における血管内皮細胞の役割とその修飾因子について解析する目的で、血管内皮細胞の TRAIL(TNF-related apoptosis inducing ligand)誘導アポトーシスに対する IFN- $\gamma$ の作用を解析したもので、評価できる。

# 2.研究手法に関する評価

ヒト臍帯静脈血管内皮細胞を用い、TRAIL 受容体の発現、刺激伝達経路、アポトーシスの程度と、それらに対する IFN- $\gamma$ の影響について多様かつ適格な方法で解析しており、評価できる。

# 3.解析・考察の評価

血管内皮細胞上TRAIL受容体の発現とアポトーシスの抑制という IFN-γの新規かつ ユニークな機構の存在を明らかにし、その機序を解析した。炎症性サイトカイン による血管内皮細胞機能修飾の新たな側面を明らかにしており、評価できる。

以上のように、本論文は炎症の場における血管内皮細胞機能修飾の機序解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。

# (注)報告番号は記入しないこと。